

中に似す、忽ち兀として石寶寨あり、風景始めて凡ならず。

石寶岩を去る數里、又た亂山の間に入る、會ま岸上、兩斷せる大船骸の遺棄せられたるを見る、覺えず、練然たり、船側又數本の鐵軌の放置せられたるものあり、想ふに此船鐵軌を積み來り、此邊にて、難破したるなるへし、件の軌條は、川漢鐵道用と點頭かれぬ、而して難船に就ては、何か一譯無かる可からざるに似たり、武陵嶺、大溪口を経て、暮時萬縣に達す、泊す、行程三百六十五清里、將さに縣に近かんとす、紅船砲を放つ三聲。

七月一日、早起、江山一霧、樓閣隱顯、東船西舫、夢未た醒めず、やがて檣頭高く、日章旗を掲けたる紅船、纜を解き、江心に向つて押し出す、砲聲一發、城も落ちよと轟きたり、續いて一發、浦に響いて鳴り渡る、本船之に従ひて碼頭を發す、下ること二三清里、霧漸く散すれば、出づる日杲杲、大旗に映して、的礫たり、午前十一時、興隆灘を下る、船、礁に觸る、者幾回なるを知らず、觸る、毎に、聲轟然として、水下に起る、午後一時、雲陽縣を過ぎ、鷄卜子に入る、會ま滿帆風を受けたる巨船の溯り來れるあり、相近くに及び、我も避け、彼も別路に轉せんとす、用意や遅し、家大の巨船、此方を目懸けて、眞つしくら、驚破覺悟と立ち上りし、一刹那、我船先を掠め、右一轉、飛鳥の如く、岩石だらけの

岸上に乗り揚げたり、江水之か爲めに大渦を成し、我舟轉廻するもの四び、始めて進
むを得たり、其粉碎に免れたる、真に間一絲なり、午後三時三塊子を過ぐ、船に立ちて
四方を望み居たるに、一陣の熱風、左より来る、面を以て風路に當つれば、其炎、殆ど烈
火の如し、身を引いて之を避くれば、依然江上の涼境なり、舟夫に問へば、唯た頭を掉
りて不好、不好と答ふるのみ、これを所謂瘴癘の氣といふものには非すやと思ひぬ
午後六時半、夔州に達す、州の上流に泊す、水昨春過ぎる時に比せは、高きこと數丈、夜
本邦教習戸城傳七郎、豊田五郎の兩氏を中學堂に訪ふ、此夜又た唱燈兒を呼ひ、蜀國
弦數曲を歌はしむ、

二日 朝、戸城豊田兩氏、來り訪はる、午時舟を開く、臭鹽磧、八陣圖蹟、皆深く水に没し
て見る可らず、進むて瞿唐峽に向ふ、滄瀨堆、高さ三四尺、所謂滄瀨大如馬、瞿唐不可下
の時なり、舟夫等小心相警めて峽口に入る、風箱峽を下り、午後三時、巫山縣を經、此時
天已に陰り、四山漸く雨を催さんと欲す、將さに巫山大峽に入らんとす、豆大の雨、ほ
つりぼつりと落ち来る、防雨の設備をせん爲め、舟を岸邊の岩陰に寄せ、空合如何と
眺むる間に、見る見る満天墨を潑すばかりに掻き曇り、霹靂數聲、篠突く豪雨、烟を立
て、降り出せり、狂びに狂ふ狂風は、峯を鳴し水を捲き、防雨の設備も待たはこぞ、遂

瘴癘

夔州に泊す

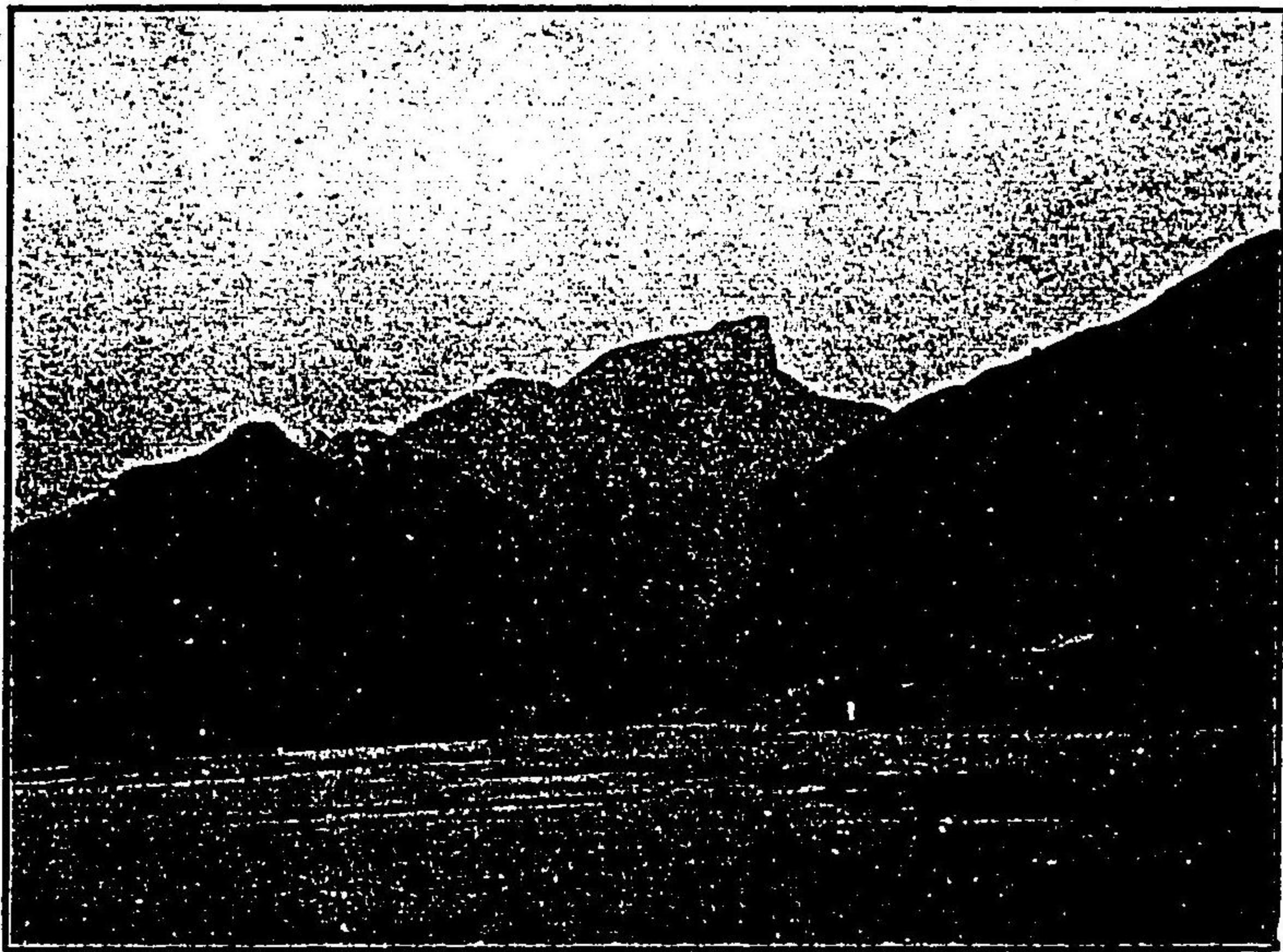
本邦人

瞿唐峽に入る

巫山峽の風雨



口峽 崖壁 なる 穴 見り、と 流す



む望を山岬赤び及口峽唐羅りよ流上

飛ひ戸折れ、瞬く内に、船内の浸水、五寸餘を過ぎたり、繩を打ち纏ひて屋を護り、茶碗、皿鉢有合ふ器もて水を排せしが、裝貨はしたしか浸害を受けたり、斯る間に、一大船鼓躁して下流より來る、五六十人の人夫、對岸の石道より、力を極て之を拉ぐ、船にては船長らしきが、櫓を叩き、舵を打ち、咽啞叱咤、さながら阿修羅王の荒れたらんか如し、水手共、十五六挺の櫓を立て、ひた推しに推せども、逆風怒濤、船寸進する能はず、忽ち曳繩中程より切斷す、何かは以て堪るへき、陸上なる五六十人の人夫等は、前に向ひ、將棊倒に打ち倒れ、十萬餘斤を搭載せると覺しき大船、二三回獨樂の如くに廻轉せし後、目にも止らぬ速力にて、行衛も知らず逆走せり、今此慘景を眼前に認めれば、彼の禍は、纏て我舟の戒めなり、此時風雨益烈しく、雷さへはためき、山谷震動せんと欲す、萬一中流に押し流されては、一大事と、我等も舟夫も、皆岩上に下り立ち、力を極めて舟を繋ぐ、斯て凡そ三十分も過ぎしに、今までの凄しき嵐、くねらりと霽れて、天紺碧、巫山の孱顔浴を出づるが如く、幾片の白雲、絮帽を戴くに似たり、やれやれ壯絶慘絶の目に逢ひけるかな、いざ漕ぎ出さんと、纜を解き、流れに従ひ、峽中に入る、雨後の十二峯、天外の巖眉亦た其秀を比すること能はず、豈に天山を洗ふて而して客に戯するもの耶、

滑石に泊す

さりどては不幸なるは、彼の大船なり、何處まで打ち流されしやと、目を配りて進みたれど、會て其影たにも見えで、太鼓、楳花、扉等の浮流せるに逢ふ、これぞ、彼船の遺物にて、正しく船體は巫峽の底に沈みしなり、午後七時下滑石に泊す、

宋玉が故里

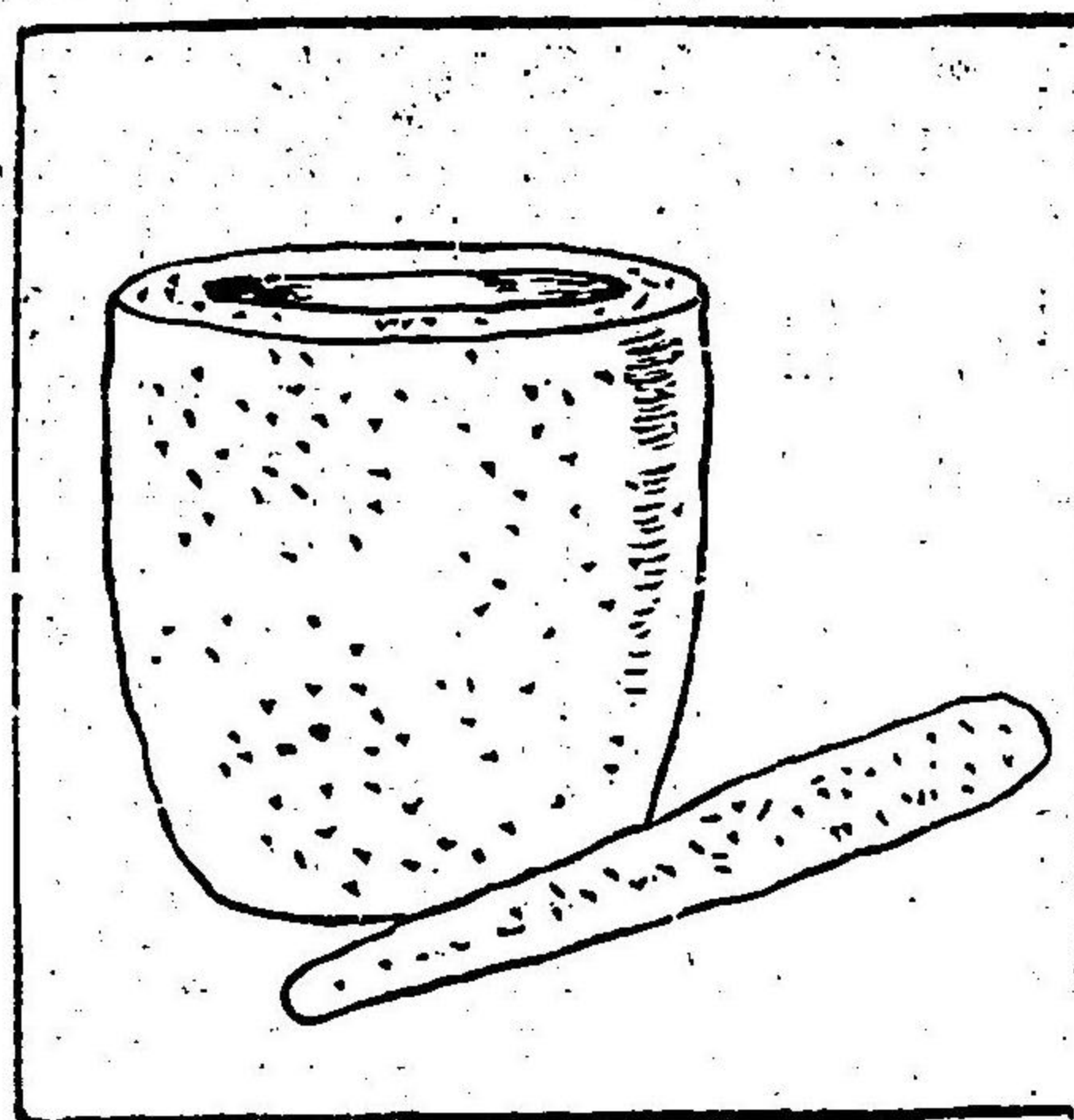
三日 午前四時發す、鐵棺峽、巴東縣を下り、八時、牛口灘に入る、余試に紅船に移乗し、牛口を經、更に進むて、洩灘を下る、船體掀舞、快言ふ可らず、人酔墜口に至りて本船に回る、有名の人酔墜も、水、過高の爲め、亂石深く水下に没し、復た灘を成すに至らず、往復兩度遂に其面目を見ることが得ず、歸州城を過き、蓮花三派に至る、峽江圖攷を見れば、此處は恰かも宋玉が故里の下方に當れり、一探を試みんとて、舟を左岸に寄せ、吉田翁と上陸す、草を分けて石に攀ぢ、一町餘も曲折して、僅に通路に出で、往復去來、此處彼處と尋ね見しか、一本の石標たに無く、路人に就て之を問へども、固より宋玉などといふ名さへ知らず、何時迄徘徊するも、要領を得へくもあらざれば、流に沿ひ、屈原の廟にと赴く、

路、高低曲折あれども、綠陰憩ふへく、溪泉掬すへし、行く十五六町、左方の高處に、一字の樓門あり、これぞ、屈廟ならめど、破礎を拾ふて登り見れば、廟にはあらで、大慈寺と題せる禪刹なり、門を入れば、老僧二人出て迎へ、恭しく延いて客廳に請す、廳内乾淨、

几案清潔、甚だ假息するに堪えたり、庭間一株の黃葛樹あり、其大周圍二丈に餘れり、老幹盤屈、枝葉盛茂、實に數百年の物なり、院後數坪の菜園に、老僧か丹誠と見えたる瓜棚あり、三四寸の胡瓜、十餘本を懸く、瓜揉みの料に、僧に請ひ、其五六本を取る、其旁兩株の香柑あり、幼實僅に指頭大を過く、又請ふて其數顆を摘む、去るに臨み、小銀一片を以て僧に與ふ、固辭して受けざるを、強ひて押し付けて寺を出づ、僧に教へられしまし、又た江に沿ひて下り、二三の小村を過ぎ、往く數町にして、屈公祠下に達す、祠路左の一段小高き處に立てり、門一宇、殿數間、眇然たる小構なり、門に題して清烈公祠と云ふ、門内に民家二三戸あり、祠守の家も此中に在りと見えたり、正面の石階上を正殿となす、殿の中央に屈原の塑像を祀れる、龕を置く、像は大さ人のごとく、楚の大夫の衣冠して、椅に倚れり、眉目沈嚴、人をして敬を起さしむ、殿内詩碑數方あり、皆觀るに足らず、殿内又本邦舊時の寺小屋にも似て、年五十はかりの村夫子、兒童七八名に讀書手習を教へ居れり、夫子か磨れる朱墨は、江より出づる天然の朱石なりといふ、葛天氏の遺風あり、祠中他に觀るもの無ければ、憩ふ暫くにして、去つて江に下れば、舟は早くも岸邊に廻はされたり、

舟に歸れば、小吉田氏前刻漁夫より大江特産の一尺四五寸に餘れる一鱸魚を買ひ

大切りの刺身に拵へ、首を延いて待たれたり、之れは如何にと、胡瓜と密柑とを出し、寒柑は刻みて刺身に添へ、瓜は揉みて醋酸に浸し、時ならぬ鮮味に舌を鼓しつゝ、例の高梁酒を傾けながら、流に任せて下る、樂、公侯に倣殺せんと欲す。



第六十六
香溪を採
る

王昭君の
故里

ち漢の美人王昭君の生るゝ處なり、入蜀記を見れば、江より明妃村まで程遠からず、舟にて溪を遡らは、足を勞せすして到るを得んと、又吉田翁と二人、紅船に乗り、溪中に入る、凡そ二十餘町も進みし頃、水俄に淺まり、舟膠して行るへからず、因て陸に上

石 白 石

此行舟中用ゐる所の鹽は岩鹽なり、所在村驛皆買ふへし、其色純白にはあらざれども、質佳にして硬、碎きて小塊とし、之を石臼に投し、石杵を以て搗きて粉末となす、荒涼たる峽中、時有りて搗鹽の聲起る、幾んど避世の感あり。

午後二時香溪口に達す、小村あり、人家二三百、古の興山縣是なり、香溪、江の左方より來り、流れて大江に注ぐ、其源、古明妃村に發す、今、溪口の村、明妃村、及溪を併せ、總へて香溪と名く、明妃村は即

兵書峽を
下る
孔明が兵

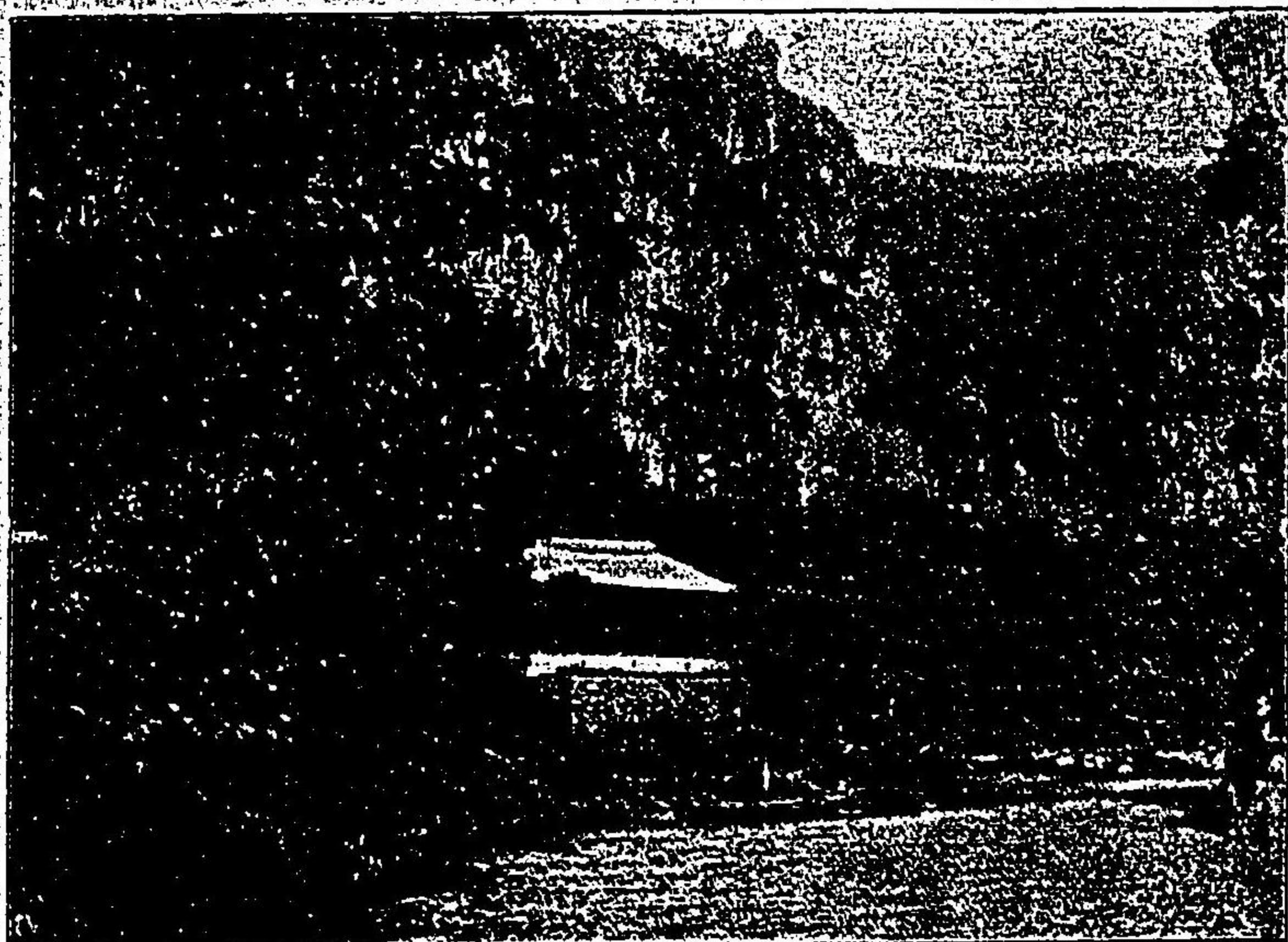
り、溪に沿ひ徑に従ふて進むこと凡そ三十餘町にして、古明妃村に至れり、村溪を挟んで在り、五家六家處處に點在す、山静水明、瀟洒出塵、げに漢宮第一の人を産せし處ぞと覺えし、村中、明妃祠のありといふこと、舊志に見えれば、其所在并に傳説等を聞かん爲め、先づ小學校の先生を訪ふ、學校は溪右の古廟に在り、初等小學堂の門標も、土地に似合はず嚴めかし、試験成績表の式の如く揭示せられたる、此僻郷にも己に新教育の眞似事ありと見られぬ、此村に外國人の入れるは、開闢以來の珍事ならん、見物の老幼群を成して押懸けたり、やがて先生といふ人出て來る、余具さに來意を告げしも、楚人蜀語に通せざる面持なれば、更に筆談を試みしに、僅に解したるものゝ如くなれど、明妃祠は愚か、此村の明妃村たることも知らず、學校訪問の當は外れしが、昭君村探檢の目的は達せられぬ、村を去りて歸路に就く、待たせ置きし紅船に乗りて、溪口に出つ、溪口の右崖上に古廟あり、水府廟と名く、廟中、王嬙を弔ふ一詩碑あり、午後六時、香溪を發す、兵書峽に入る、兩岸の絶壁、直ちに江面より屹立す、俗、孔明、兵書を藏する處と傳ふ、壁間、板、數枚を挿じ、遠望すれば、書冊を置くか如く見ゆ、薄暮、新灘を下る、遠岫雲を帯ひ、斜陽樹を照す、新灘村の暮景、亦た一入の眺なり、又た進む二十餘清里、牛肝馬肺峽に入る、月色、明輝、山樹、數ふ可七、左崖、水を去る四五尺ばかりの處

重慶府より宜昌府に至る

第六十七

前河に泊す

三游洞に遊ぶ

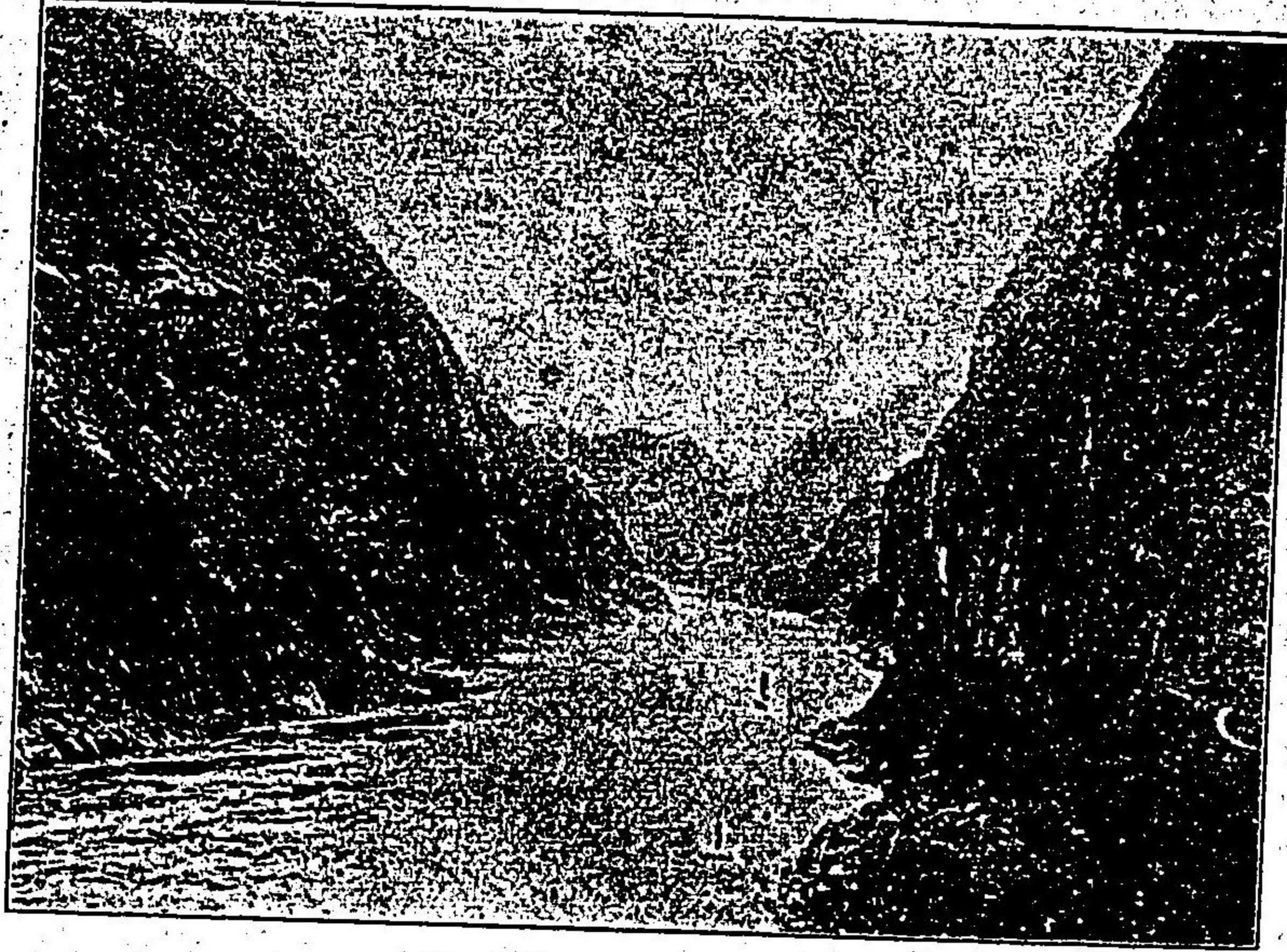


三游洞

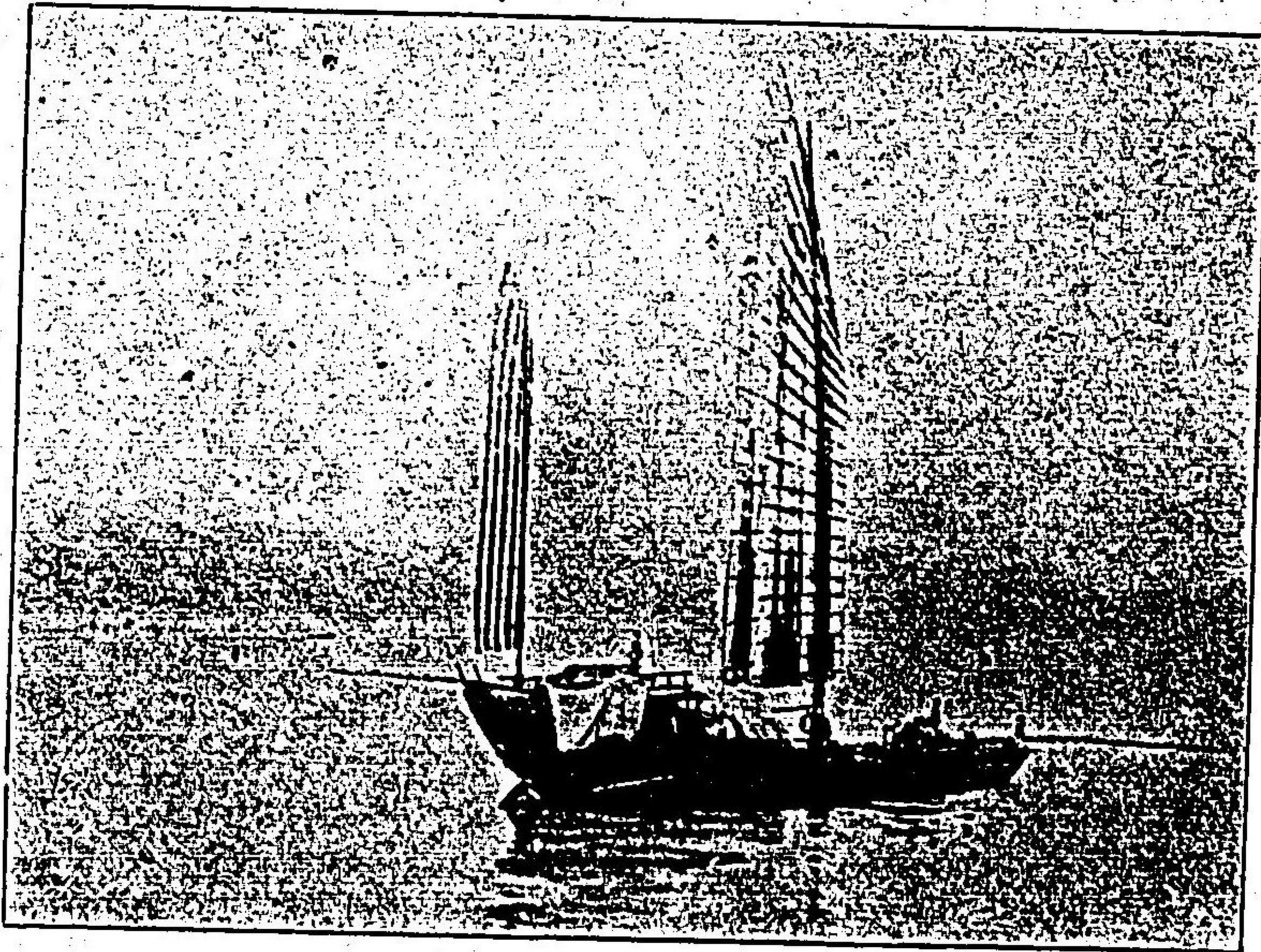
三游洞

に、一條の石路あり、昨春此峽を上りし時、恰も工事中に在りしものと思はる、當時舟より見上げて、工夫等は蟻の如く見え、斯る絶壁に何の爲めに路を開くやと訝りしか、今は其故解せられたり、即ちこは増水期日に船隻等が往來するところなり、仰いて壁頂を望むに、尙ほ天と一握を隔つるのみ、此峽の峻絶、以て想ふ可し、峽を出て、左岸の廟河に泊す。

四日 午前六時、黃陵廟に至る、是に至りて天地豁然たり、午時三游洞に達す、舟を洞中に入る、溪廣さ大約五六十間、其水清澄、鬚髮鑑みる可し、長江數千里中、水清めるところ、僅に此洞のみなりと



帆 道 の 中 峽



づ 出 に 外 峽 牛 黄

三游洞の由来

云ふ、溪長さ凡そ十八九町、兩岸危崖、蒼樹下に垂れ、藤蘿絲を挂く、溪窮るところ、一練の飛瀑を懸く、宜昌の米入、其前に別墅を構へ、以て避暑の處となせり、左崖百尺の上、方、不知何神の廟を建つ、舟を廟下の樹陰に繋ぎて飯す、

三游洞本名下牢溪、其三遊と稱するは、白樂天の命するより始れり、樂天、江州の司馬より忠州(前に見ゆ)の刺史に轉せらるゝや、江に由りて程に上る、其弟行簡從ふ、時に元稹亦た通州の司馬より號州の長史に轉す、三人俱に夷陵(即ち宜昌)に會せり、樂天夷陵を發して峽に向ふ、元之送りて下牢溪に至る、乃ち一時の別を叙せんか爲め、三人相携へて溪に遊ふ、樂天これに因て、溪に名けて三游洞といふ、此時樂天三游洞序の作あり、今冗を避けず、録して以て、名蹟の由縁を明にす、其の序に曰く、平淮西之明年、冬、予自江州司馬、授忠州刺史、微之元稹自通州司馬、授號州長史、又明年春、各祗命之郡、與知退偕行、三月十日、參會於夷陵、翌日微之反棹、送予至下牢成、又翌日將別、未忍引舟上下者久之、酒酣、聞石間泉聲、因捨棹進策、步入缺岸、初見石、如墨如削、其恠者如引、如垂、運次見泉、如瀉如瀉、其奇者如懸練、如不絕、綫遂相與維、舟巖下牽、僕夫、無刈、巖梯、危絕、滑、休而復上者、凡四焉、仰睇俯察、絕無人迹、但水石相薄、磷磷、鑿鑿、桃珠、凝玉、驚動耳目、自未訖、訖愛不能去、俄而峽山昏、黑、雲破、月出、光氣含吐、互相明滅、品、燦、玲、瓏、象、生、其中、

雖有敏口不能名狀、既而通夕不寐、迨旦將去、憐奇惜別、且嘆且言、知退曰、斯境勝絕、天地間其有幾乎、如之何俯通津、縣代序、寂寥委置、罕有到者、予曰、借此喻彼、可為長太息、豈獨是哉、豈獨是哉、微之曰、誠哉是言、矧吾人難相逢、斯境不易得、而今兩偶、於是得無述乎、請各賦古調詩二十韻、書于石壁、仍命予序而紀之、又以吾三人始遊、故因為三遊洞、洞在峽州上二十里北、峯下兩崖相窺、欲將來好事者知、故備書其事、後千年日東之三客、亦同來、來而遊、其蹤在遊、序讀而記、其由詳、予豈能將將來好事者之知、所不聞、聞之、得之、

宜昌府に達す

洞を出て暮時宜昌に達す、成都より宜昌に至る大約水路三千二百餘清里、啓行の日より、舟を行る、十四日のみ、此夜江俄に肥え、水加ふること、十餘尺を超ゆ、

清水溪

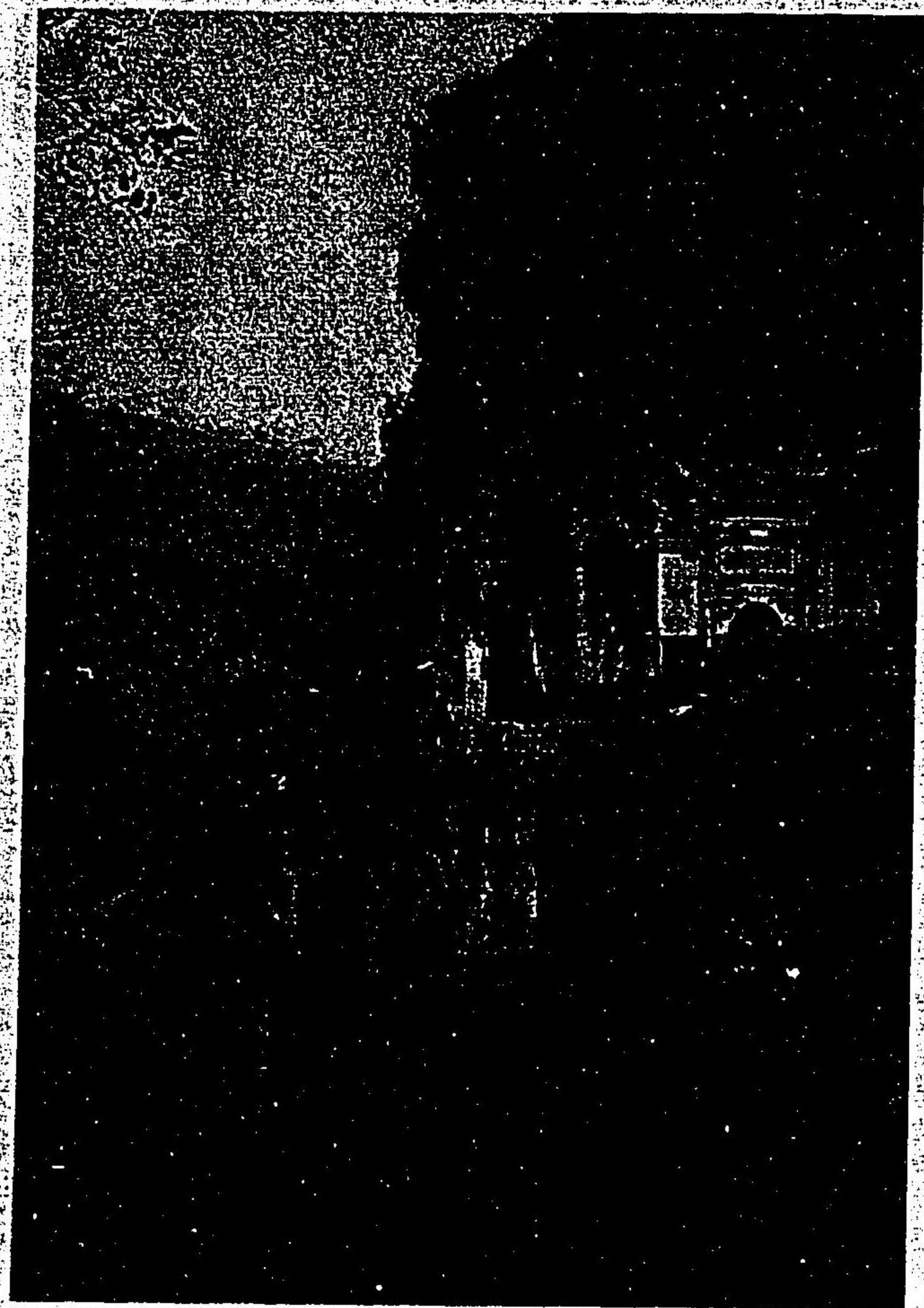
唐杜甫

深舟千山内、日入泊枉渚、我生本飄飄、今復在何許、石根青楓林、猿鳥聚儔侶、月明遊子靜、畏虎不得語、中夜懷友朋、乾坤此深阻、浩蕩前後間、佳期赴荆楚、

初至韃為作

唐岑參

山色軒楹内、灘聲枕席間、草生公府靜、花落訟庭閒、雲雨連三峽、風塵接百蠻、到來能幾日、不覺鬢毛斑、



三遊洞の左壁

月巖

宋陸游

幾年不作月巖遊，萬里重來已白頭。雲外連娟何所似，平羌江上半輪秋。

健爲城

宋陳羽

健爲城下泮洞路，空冢灘西買客舟。此夜可憐江上月，蠻歌銅鼓不勝愁。

江樓

宋范成大

河邊塔立看歸篷，三老鬪頭暮欲東。漲水稠灘連峽內，淺山浮石似湘中。無人驛路榛榛草，有客江樓浩浩風。種落塵消少公事，賸裁新句寄詩筒。

鎮江亭

宋陸游

楚柁吳檣又遠遊，浣花行樂夢西州。千尋鐵鎖還堪恨，空鎖長江不鎖愁。

西樓

宋劉翼之

西樓何似在東樓，但覺今州勝舊州。山色不藏興廢跡，江聲空載古今愁。

山谷故居

宋陸游

文章何罪觸雷霆，風雨南溪自醉醒。八十年間遺老盡，壞堂無壁草青青。

江山一覽亭

明劉璣

鐵戟烟鎖戍壘殘，危樓喜見峙江干。地經轉戰雲常黑，天入悲歌雨易寒。不盡双溪留恨往，

倚餘一塔登遙觀，鬱姑仙去浩翁逝。今古茫茫獨倚欄。

涪州

宋陸游

古壘西偏曉繫舟，倚欄搔首思悠然。欲尋丹竈竟無地，不見荔枝空遠遊。官道近江多亂石，人家避水半危樓。使君不用勤留客，瘴雨蠻烟我欲愁。

平都山

宋蘇軾

足跡平都古洞天，此身不覺到雲間。搔目四顧乾坤間，日月星辰任我攀。

步東坡

唐白居易

朝上東坡步，夕上東坡步。東坡何所愛，愛此新成樹。種植當歲初，滋榮及春暮。信意取次栽，無行亦無數。綠陰斜景轉，芳氣微風度。新葉鳥下來，萎花蝶飛去。閑携斑竹杖，徐曳黃麻屨。欲識往來頻，青苔成白路。

南賓郡齋寄楊萬州

山上巴子城，山下巴江水。中有窮獨人，強名為刺史。時時竊自笑，刺史豈如是。食粟饒家人，黃練裹妻子。莓苔翳冠帶，霧雨蠶樓雉。衙鼓暮復朝，郡齋臥還起。回首望南浦，亦在烟波裏。而我復何嘆，夫君猶滯此。

西樓月

悄悄復悄悄，城隅隱林杪。山郭燈火稀，峽天星漢少。年光東流水，生計南枝鳥。月沒光沈沈，西樓殊未曉。

東坡種花

持錢買花樹，城東坡上栽。但購有花者，不限桃李梅。百果參雜種，千枝次第開。天時有早晚，地力無高低。紅者霞艷艷，白者雪皚皚。遊鱗逐不去，好鳥亦來棲。前有長流水，上有小平臺。時佛石上坐，一舉風前杯。花枝蔭我頭，花葉入我懷。獨酌復獨詠，不覺日平西。巴俗不受花，竟春無人來。唯此醉太守，竟日不能迴。

東坡春向暮，樹木今何如。漠漠花落盡，翳翳葉生初。每日領童僕，荷鋤仍決渠。剗土壅其本，引泉溉其枯。小樹低數尺，大樹長丈餘。封植未幾時，高下齊扶疎。養樹既如此，養民亦何殊。將欲茂枝葉，必先救根株。云何救根株，勸農均賦租。云何茂枝葉，有事寬刑書。移此爲郡治，庶幾毗俗蘇。

別種東坡樹

三年留滯在江城，草樹禽魚盡有情。何處殷勤重迴首，東坡桃李種新成。花林好住真顛顛，春至但知依舊春。樓上明年新太守，不妨還是愛花人。

荔枝樓

荔枝新熟雞冠色，燒酒初開琥珀香。欲折一枝傾一釀，西樓無客共誰嘗。

招客夜飲

莫辭數數醉東樓，除醉無因破得愁。惟有綠樽紅燭下，暫時不似在忠州。

登西樓憶行簡

每因樓上西南望，始覺人間道路長。礙日暮山青簇簇，漫天秋水白茫茫。風波不見三年面，書信難傳萬里腸。早晚東歸來口峽，穩乘船舫過瞿唐。

九日登巴臺

黍香酒初熟，菊暖花未開。聞聽竹枝曲，淺酌茱萸杯。去年重陽日，漂泊溢城隈。今歲重陽日，蕭條巴子臺。旅髮尋已白，鄉書久不來。臨觴一搔首，座客亦徘徊。

大禹廟

唐杜甫

禹廟空山裏，秋風落日斜。荒庭垂橘柚，古屋畫龍蛇。雲氣生虛壁，江聲走白沙。早知垂四載，疏鑿控三巴。

大禹廟

唐陸游

古郡巴蠻國，空山夏禹祠。鴉歸暗庭柏，巫拜薦江蘼。草蔓青綠壁，苔痕紫滿碑。欲歸頻帳望，

回棹夕陽時

昭君怨

漢王 嬙

秋水淒淒其葉萎黃有鳥處山集于苞桑養育羽毛形容生光既得升雲上游山房離宮絕
曠身體推藏志念抑沉不得顧顧雖得飲食心有徊徨我獨伊何來往變常翩翩之燕遠集
西美高山峩峩河水泱泱父兮母兮道里悠長嗚呼哀哉憂心惻傷

王昭君

明劉 基

漢庭不賞微功士昭君却向胡中死昭君辭漢入胡中胡女悲愁漢嬙喜含情欲怨常語誰
手彈琵琶淚沾衣掖庭望幸從此絕巫山有路他生歸殷勤說與上林雁好在明年再相見
漢恩如海長自深妾自生來命如綫賤妾一身何足惜可惜當年劉敬策遂令上策重和親
欲倚紅顏清塵塞只恐妾身先草露漢宮無復如花人

蜀國弦

胡茄拍斷玄水結湘靈曲終斑竹裂為君更奏蜀國弦一彈一辟飛上天蜀國周遭五千里
峩眉岾岾連玉壘眠岾出水作大江地壽天浮戒南紀舒為五色朝霞暉慘為虎豹嗥陰窳
禽為千嶽雲雨入嘘為百里雷雲飛白鹽雪消春水滿谷鳥相呼錦城暖已姬倚歌漢女和
楊柳壓橋花纂纂銅梁翠氣通青蛉碧鷄啼落天上星山都號風寒孤泣杜鵑嗚咽愁幽冥

商悲羽怒聽未了，窮猿三聲巫峽曉。瞿塘噴浪翻九淵，倒瀉流泉喧木杪。樓頭仲宣羈旅客，故鄉渺渺皆塵隔。含悽更聽蜀國音，不待天明頭盡白。

詠懷古跡

唐杜甫

搖落深知宋玉悲，風流儒雅亦吾師。悵望千秋一灑淚，蕭條異代不同時。江山故宅空文藻，

雲雨荒臺豈夢思。最是楚宮俱泯滅，舟人指點到今疑。

雨夜寄北

唐李義山

君問歸期未有期，巴山夜雨漲秋池。何當共剪西窗燭，却話巴山夜雨時。

巴蜀舉

地名釋

(音字の口音に按てハハ列下)

口部

鹿角 Lu-chio
 鹿頭山 Lu-tou-shan
 瀘州 Lu-chou
 關州 Lang-chou
 老佛言 Lao-fu-yan
 老木孔 Lao-mu-kong
 巴塘 Pa-tang
 巴東縣 Pa-to-og-hsien
 萬縣 Wan-hsien
 萬戶沱 Wan-fu-to
 萬年寺 Wan-nien-szu

八部

萬景樓 Wang-ching-lou
 萬勝堆 Wan-shong-tai
 萬里橋 Wan-li-chiao
 馬木河 Ma-mu-ho
 馬尼河 Ma-wei-ho
 馬嶺山 Ma-ling-shan
 白帝城 Pai-ti-cheng
 白衛嶺 Pai-wei-ling
 白樹壆 Pai-shu-ya
 板橋鋪 Pan-chiao-pu
 八斗灘 Pa-to-tan
 培石 Pei-shi
 半邊街 Pan-pien-kai
 二仙巷 Erh-hsien-an

二郎灘 Erh-ang-tan

二王廟 Erh-wang-miao

木部

寶光寺 Pao-kuang-szu
 寶寧山 Pao-chan-shan
 望城坡 Wang-cheng-po
 望江樓 Wang-chiang-lou
 保寧府 Pao-nin-fu
 布袋口 Pai-tai-kou
 彭山縣 Peng-shan-hsien
 房公湖 Fang-kung-hu
 鄧都縣 Teng-tu-hsien
 遠州 Tai-chou
 奉節縣 Fong-chieh-hsien

地名釋

二部

平 楚 峽	Ping-chiang-hsia	洞 治 晏	Tung-chu-an	沈 香 塔	Shen-shan-ta
平 善 壩	Ping-shan-pa	規 光 臺	Tu-kuang-tai	姚 景 橋	Yao-ching-chieh
汨 羅	Ki-lo	道 士 磯	Tao-shuh-kuun	重 慶 府	Chung-ching-fu
岳 書 峽	Ping-shu-hsia	中 宮	Chung-Yen	跳 蹬 場	Tiao-teng-chang
東 坡 樓	Tong-po-lou	中 峯 寺	Chung-feng-szu	豬 肝 洞	Chu-kar-tong
東 勝 街	Tong-sheng-kai	忠 州	Chung-chu	亭 溪	Chu-chi
唐 家 沱	Tang-cha-to	長 壽 縣	Chang-shou-hsien	朝 天 閣	Chao-tien-kuun
唐 家 寺	Tang-chia-szu	長 卿 山	Chang-ching-shan	龍 懷 山	Long-kui-shan
檜 家 舖	Tang-chia-pu	竹 榿 子	Chu-ya-tzu	龍 興 寺	Long-hsing-szu
登 子 石	Teng-tzu-su	竹 林 舖	Chu-lin-pu	龍 居 溪	Long-chu-chi
燈 杆 壩	Teng-kan-pa	竹 根 灘	Chu-ken-tan	龍 昇 岡	Long-sheng-kuang
德 陽 縣	Te-yang-hsien	慈 福 院	Tzu-fu-yuan	龍 市 橋	Lin-su-chieh
倒 吊 和 尙 灘	Tao-tio-ho-shang-tan	慈 聖 寺	Tzu-sheng-an	隆 昌 縣	Long-chang-hsien
		鎮 夷 關	Chen-i-kuan		

梁山縣 Liang-shan-hsien
利州 Li-chou
離堆 Li-toi

ㄨㄨ部

鴨婆灘 Ya-po-tan
溫江縣 Wen-chiang-hsien
溫湯峽 Wen-tang-hsia

ㄨㄨ部

雅河 Ya-ho
雅州 Ya-chou
嘉定府 Chia-ting-fu
嘉陵江 Chia-ling-chiang
蝦蟆塔 Hsia-ma-pei
峨眉山 O-mei-shan

地名釋

乾龍洞 Chien-long-tong

學道街 Hsiao-tao-kai

俄狗堆 O-kou-toi

下馬灘 Hsia-ma-tan

覺苑寺 Chiao-yu n-szu

葛仙山 Ko-hsien-shan

漢州 Han-chou

簡州 Chien-chou

海香寺 Hai-yin-szu

海會堂 Hai-hoi-tang

ㄨㄨ部

楊妃池 Yang-fei-chih

楊柳壩 Yang-liu-pa

陽臺山 Yang-tai-shan

ㄨㄨ部

大慈寺 Da-tzu-szu

大渡河 Da-tu-ho

大峩寺 Da-o-szu

大寄老 Da-chi-lao

大溪口 Da-chi-kou

大竹縣 Da-chu-hsien

大乘寺 Da-siang-szu

太子坪寺 Tai-tzu-pin-szu

太和鎮 Tai-ho-chien

蛇倒退 Sh3-Tao-tui

獼洞 Tai-tong

磚殿 Chuan-tien

打箭爐 Da-chien-lu

丹景山 Tan-ching-shan

ノ部

蓮花石 Lien-hua-shi
 蓮花三渡 Lien-hua-san-hsun
 盤官樓 Liu-kuan-lou
 ノ部
 雙流縣 Shuang-liu-hsien
 雙孝祠 Shuang-hsiao-tzu
 送險亭 Song-hsien-ting
 送仙橋 Song-hsien-chiao
 皂角舖 Tsao-chio-pu
 祖師殿 Tsu-su-tien
 曾家沱 Tsao-chia-to
 息心所 Hsi-tsin-so
 慈嶺 Tsung-ling
 蘇稽 Su-chi

示部

寧遠府 Ning-yuan-fu
 示部
 南沱 Nan-to
 南充縣 Nan-chung-hsien
 南溪縣 Nan-chi-hsien
 楠木園 Nan-mu-yuan
 內江 Nei-ching
 那克都母精山 Na-ko-tu-mu-ching-shan
 示部
 雷音寺 Lei-yin-szu
 雷洞坪 Lei-t'ung-pin
 藍家店 Lan-chia-tien
 濫泥溝 Lau-ni-kou
 樂山縣 Lo-shan-hsien

落鳳坡 Lo-feng-po

羅羅 Lo-lo

羅環山 Lo-kwai-shan

ㄣ部

無懷河 Wu-huai-tong

無地巖 Wu-ti-yen

ㄣ部

雲阪山 Yun-pan-shan

雲陽縣 Yun-yang-hsien

烏羊鎮 Wu-yang-chun

烏有山 Wu-yu-shan

禹王宮 Yu-wang-kong

ㄣ部

會燈寺 Hui-teng-szu

會佛寺 Hui-fu-szu

觀音寺 Kuan-yin-szu
 軍營河 Chun-ying-ho
 狗矢沱 Kou-su-to
 浣花溪 Kuan-hua-chi
 題瀾塔 Hui-lan-ta
 華陽縣 Hua-yang-hsien
 鶴鳴山 Ho-ming-shan
 羅唐峽 Chu-tang-lsia
 空舂峽 Ko-g'ing-lsia
 遇仙寺 Yu-hsien-szu
 漢縣 Kuan-hsien
 瓦子壩 Wa-lzu-ya
 臥雲巷 Wo-yun-an
 外江 Wai-chiang
 屈原三池 Chu-yuan-san-pao

君平胡同 Chun-ping-fu-tong
 野狐三背 Yeh-hu-san-pei
 磨底河 Mo-ti-ho
 磨子坊 Mo
 劍州 Chien-chou
 劍閣 Chien-ko
 鷄鳴舖 Chi-ming-pu
 鷄卜子 Chi-pu-lzu
 結草草 Chieh-tsao-an
 華嚴寺 Hua-yen-szu
 捲洞壩 Chuan-long-yung
 解脫坡 Chieh-to-po

健爲縣 Chien-wei-hsien
 建昌 Chien-chang
 惠陵 Kai-ling
 桂湖 Kuei-hu
 月坡 Yueh-po
 普翠山 Pa-tsui-shan
 巫山 Wu-shan
 富順縣 Fu-shun-hsien
 武連河 Wu-leng-ho
 武侯祠 Wu-hou-tzu
 武擔山 Wu-tan-shan
 風箱峽 Feng-hsiang-hsia
 伏虎寺 Fu-hu-szu
 伏龍觀 Fu-long-kuan

地名

分水嶺 Feu-shui-ling

黃許鎮 Huang-hsu-chen

吳家塢 Wu-cha-chang

佛牙殿 Fu-ya-tien

黃泥溪 Huang-ni-chi

黑龍溪 He-long-chi

岔魚寺灘 Cha-yu-szu-tan

黃魚三滾 Huang-yu-san-kan

H(ㄏ)部

ㄇ部

虎鬚灘 Hu-hsu-tan

黃陵廟 Huang-ling-miao

永慶寺 Ing-ching-szu

虎跳橋 Hu-tiao-chieh

廣元縣 Kuan-yuan-hsien

永川縣 Ing-chuan-hsien

虎頭灘 Hu-tou-tan

廣福寺 Kuang-fu-szu

袁店子 Yuan-tien-tzu

高幟山 Kao-peao-shan

岡出山 Kang-chu-shan

榮昌縣 Ing-cha-g-hsien

高廟舖 Kao-miao-pu

興隆灘 Hsing-long-tan

濱武店 Yen-wu-tien

五盤嶺 Wu-pan-ling

孔明碑 Kong-ming-pai

灘瀆堆 Yen-yu-toi

五顯岡 Wu-hsien-kang

炕香舖 Kang-hsiang-pu

ㄋ部

黃葛峽 Huang-ko-hsia

叩州河 Chiung-chou-ho

鐵棺峽 Tieh-kuan-hsia

黃帽山 Huang-mao-shan

皇澤寺 Huang-tsa-szu

鐵蛇碯 Tieh-she-pa

黃頸洞 Huang-king-long

洪椿坪 Hung-chun-ping

鐵瓦殿 Tieh-wa-tien

黃草坡 Huang-tsao-po

古佛洞 Ku-fu-tong

天雄關 Tien-hsiung-kuan

天柱山 T'ien-chu-shan

天翅鎮 T'ien-hoi-chen

轉頭舖 Chuan-tou-pu

傅家碛 Chuan-ehia-pa

泥溪 Ni-chi

了部

安縣 An-hsien

廿部

三游洞 San-yu-tong

三蘇祠 San-su-tzu

沙河驛 Sha-ho-i

錯開峽 Tso-kai-lsia

鑽天坡 T'uan-tien-po

蔡家舖 Chi-ehia-pu

蠶背梁 Tsau-pei-liang

地名釋

卅部

錦屏山 Chin-pin-shan

錦江 Chin-kiang

金沙江 Chin-sa-kiang

金龜嶺 Chin-pieh-ling

金雁橋 Chin-yen-chieo

金頂 Chin-ting

牛耳舖 Niu-erh-pu

牛心嶺 Niu-hsin-ling

牛三沱 Niu-san-to

牛口灘 Niu-kou-tan

牛肝馬肺峽 Niu-kan-ma-fei-lsia

九老洞 Chiu-lao-tong

九盤山 Chiu-pan-shan

玉壘山 Yu-lei-shan

夔州 Kuei-chou

渠縣 Chu-hsien

歸州 Kuei-chou

桔柏津 Chieh-pi-kin

宜昌府 C-chang-fu

夾江縣 Chia-kiang-hsien

企仙亭 Chi-hsien-tin

黔江河 Chien-kiang-ho

魏城驛 Wei-cheng-i

玉皇樓 Yu-huang-lou

卌部

酉陽 Yu-yang

油札崎 Yu-cha-ki

卍部

明月峽 Ming-yueh-hsia

綿竹縣 Mien-chu-hsien

順慶府 Shun-ching-fu

神仙碑 Shen-hsien-ye

資州 Tzu-chou

七曲山 Chi-chu-shan

洗象池 Hsi-hsiai g-tsu

資陽縣 Tzu-yang-hsien

射洪縣 She-kung-chi

自流井 Tzu-liu-ching

紫陽 Tzu-yang

祿歸縣 Lu-kuei-hsien

壽星坡 Sou-hsing-po

紫芝廟 Tzu-chih-miao

小通嶺 Shao-to g-ling

上亭舖 Shang-ting-pu

叙州 Hsu-chou

純陽殿 Shun-yang-tien

將軍墳 Chiang-ehun-fen

新津縣 Hsin-tan

淨水廟 Ching-shui-miao

岑公洞 Tsen-kong-tong

新都縣 Hsin-tu-hsien

漿洗街 Chiang-hsi-kai

响鼓嶺 Hsiang-ku-ling

新市鎮 Hsin-shi-chen

正覺寺 Cheng-chieh-szu

哨樓口 Shao-lou-kou

新繁縣 Hsin-fan-hsien

松潘廳 Sung-pa-ting

人鮮壘 Jen-chia-weng

新津縣 Hsin-chin-hsien

梓潼縣 Tzu-tong-hsien

斯蒙塢 Szu-mong-ehang

昭化縣 Chao-hua-hsien

四川省 Szu-chuan-sheng

沙板灘 Sha-pan-tan

昭覺寺 Chao-chieh-szu

吳鹽礦 Hsiu-yen-ku

諸葛井街 Chu-ko-ching-kai

毗瀛 Chih-tan

爾雅臺 Erh-ya-tai

少陵草堂 Shao-ling-tsa-o-tang

七部

眠江 Min-chiang

青涼橋 Ching-liang-chiao

千佛崖 Chien-fu-ai

郫縣 Pi-hsien

青神縣 Ching-shen-hsien

接引殿 Chieh-yin-tien

眉縣 Mei-chow

青羊宮 Ching-yang-kong

豐水閣 Sheng-shui-ko

飛仙嶺 Fei-hsien-ling

清石洞 Ching-shi-tong

西界沱 Hsi-chieh-to

彌牟鎮 Mi-mou-chen

清音閣 Ching-yin-ko

赤水山 Chih-chi-shan

毘盧殿 Pi-lu-tion

清虛樓 Ching-hsu-lou

赤水河 Chih-shui-ho

七部

孟家店 Mong-chieh-tien

石笋溝 Su-sun-kou

扇子峽 Shan-tzu-ssia

孟良梯 Mong-liang-ti

石梯橋 Su-ti-chieh

積善橋 Chi-shan-chieh

茂州 Mao-chou

石門灘 Su-men-tan

宣化驛 Hsuan-hua-i

綿陽 Mong-yang

石船子 Su-chuan-tzu

聖積寺 Sheng-chi-szu

文殊院 Wen-shu-yuan

石牌珠 Su-pai-chu

薛濤井 Hsieh-tao-ching

青巖 Ching-tan

石柱廳 Su-chu-ting

錫瓦殿 Hsu-wa-tien

青巖 Ching-tan

石櫃閣 Su-kuei-ko

仙人橋 Hsien-jen-chieh

地名稱呼

入部

崇慶州 Chong-ching-chou

崇寧縣 Chong-ning-hsien

垂泉館 Chui-chun-wi-pu

地名稱呼

明治四十二年十一月十六日印刷
明治四十二年十一月二十日發行

定價金貳圓參十錢也

著者 山川 早水

發行者 松地 仙助
東京市京橋區鈴木町一番地

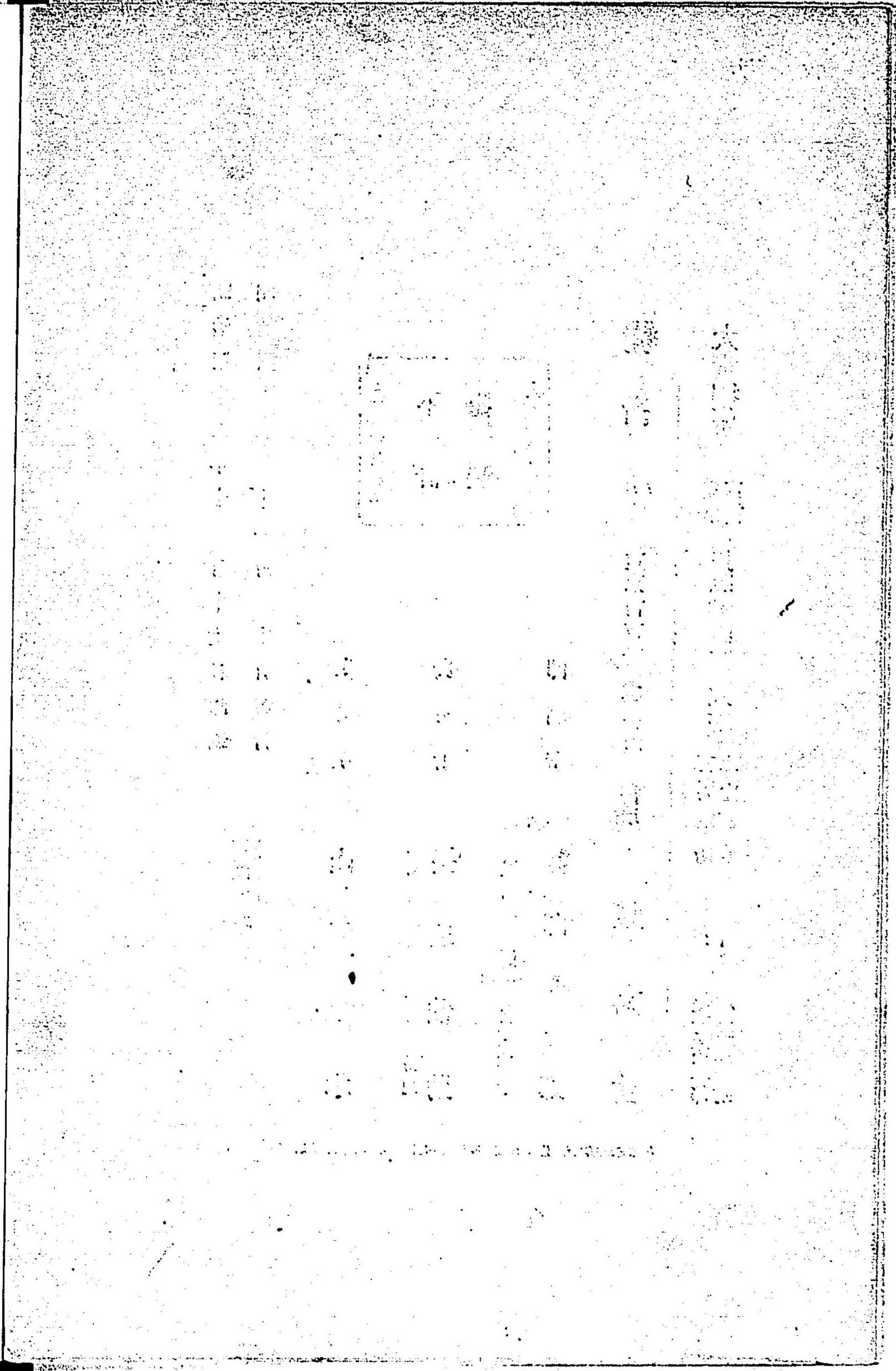
印刷者 鵜澤 幸三郎
東京市神田區三河町二丁目十四、十五、十六番地



發行所 東京市京橋區鈴木町一番地 成文館

大賣捌所 東京 目黒書店 大阪 吉岡平助 名古屋 星野松三郎
京橋 三宅莊藏 川瀬代助





明治四十二年十一月十六日印刷
明治四十二年十一月二十日發行

（定價金貳圓參十錢也）

著 者 者 山 川 早 水

發 行 者 東 京 市 京 橋 區 鈴 木 町 一 番 地 松 地 仙 助

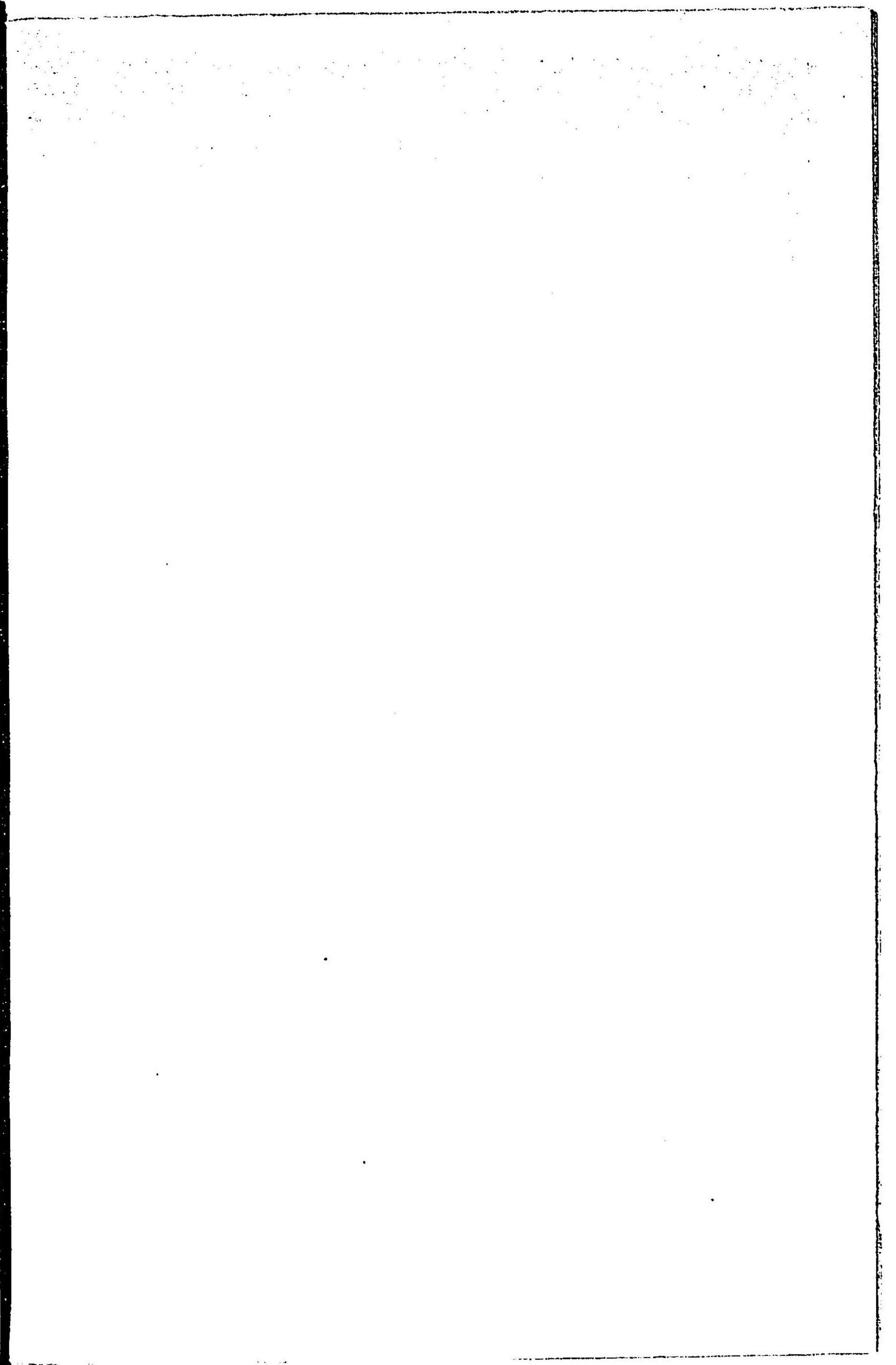
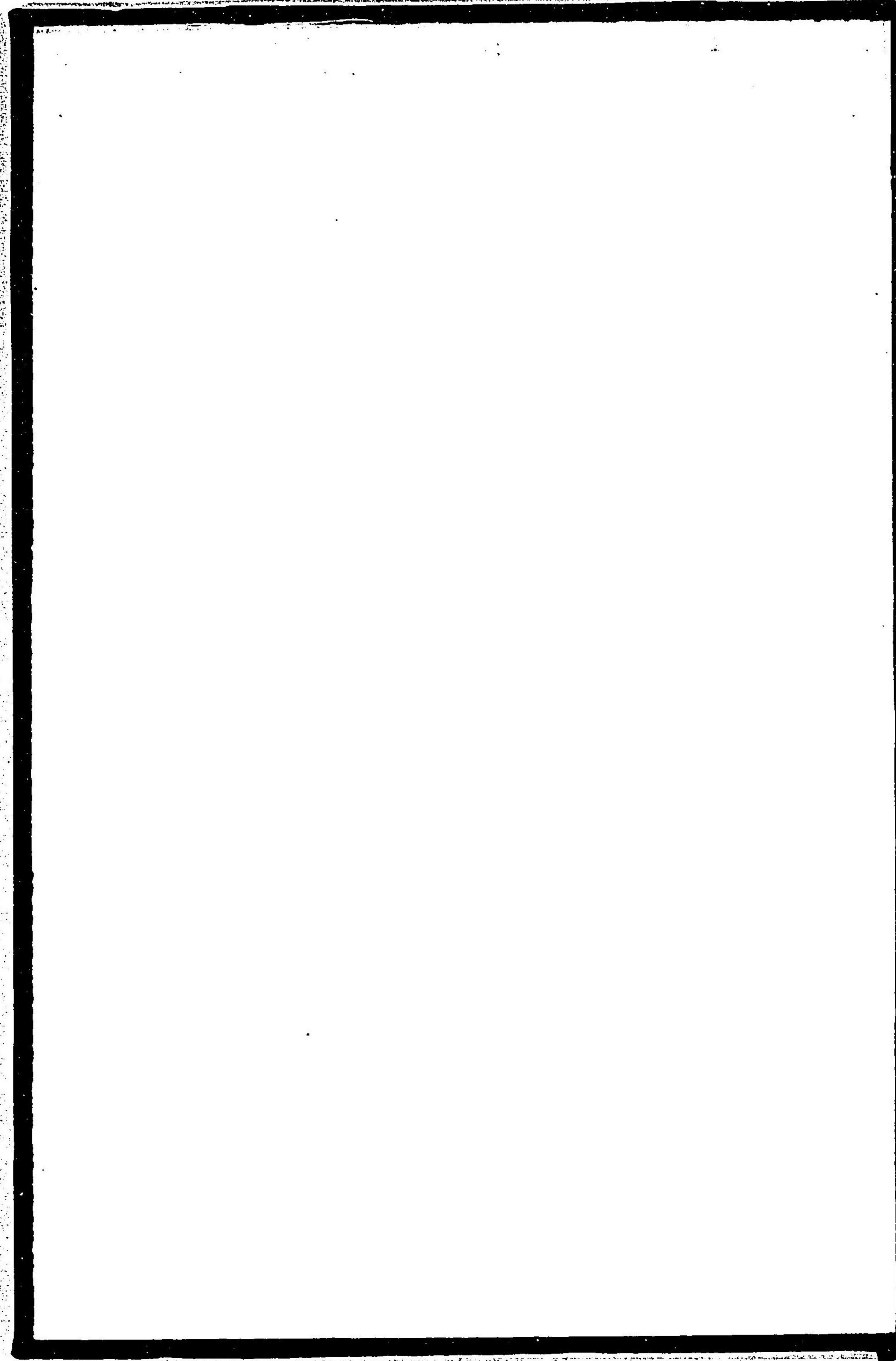
印 刷 者 東 京 市 神 田 區 三 河 町 一 丁 目 十 四 五 五 番 地 五 十 六 番 地 鵜 澤 幸 三 郎

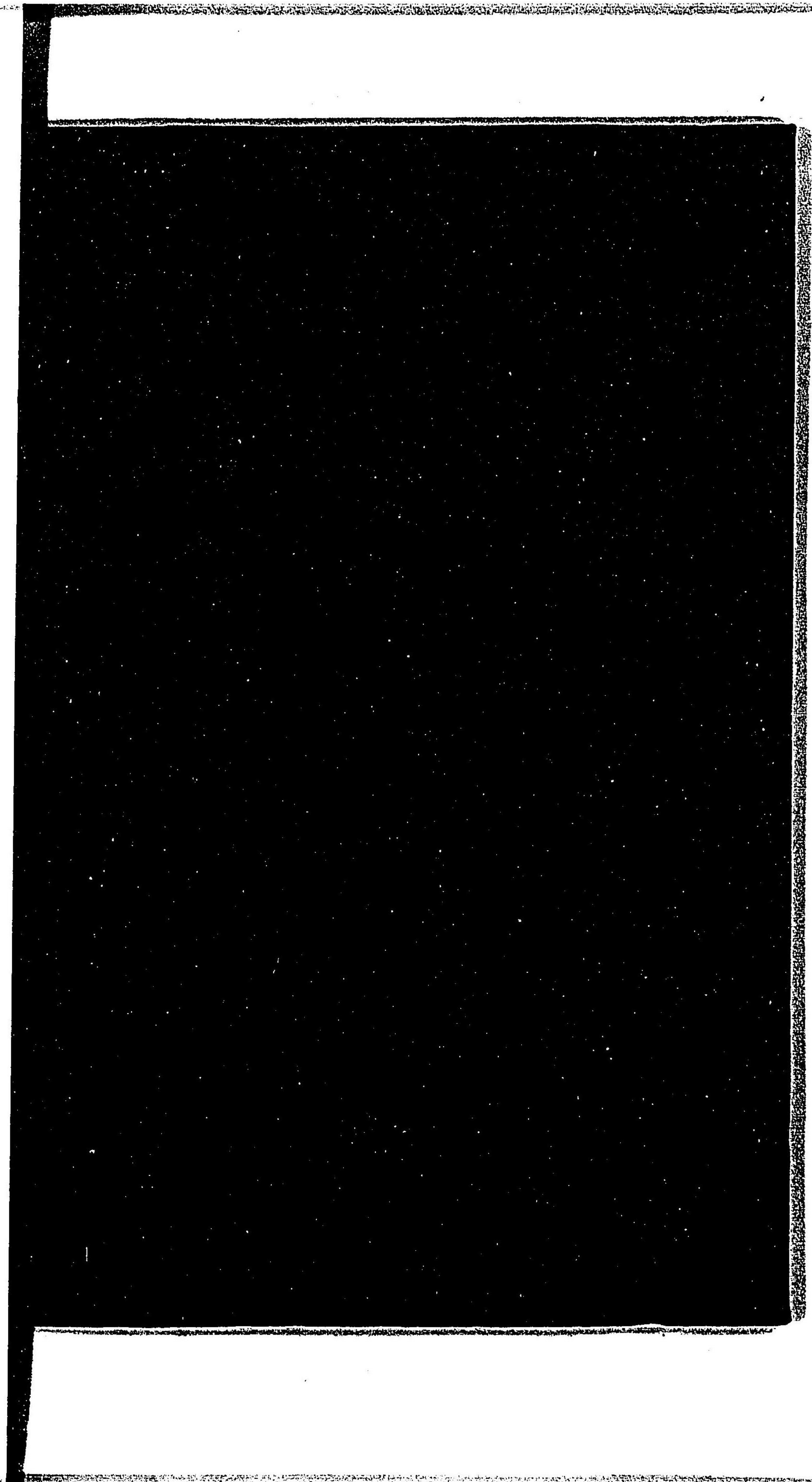


發 行 所 東 京 市 京 橋 區 鈴 木 町 一 番 地 成 文 館

大 賣 捌 所 東 京 日 黑 書 店 大 阪 吉 岡 平 助 名 古 屋 星 野 松 三 郎 三 宅 莊 藏 川 瀬 代 助









026650-000-8

292.227-Y292h

巴蜀

山川 早水/著

M42

ADD-0339

